

## 沖縄県公文書館による米国事業

### 沖縄と「アメリカ世（ユー）」

1945年（昭和20）、沖縄では日米両軍による壮絶な地上戦が約3か月にわたって繰り広げられました。米軍は上陸すると同時に布告を発し、日本の行政権を停止するとともに、軍政を開始しました。いわゆる「アメリカ世」の始まりです。

同年9月には降伏調印が行われ戦闘は終結しますが、1952年（昭和27）の講和条約までの7年間、沖縄は米軍の占領下に置かれました。講和条約の発効により日本は再び独立国として国際社会に復帰しますが、同条約第3条の規定により沖縄・奄美と小笠原は米国の施政権下に置かれることになりました。その後1972年（昭和47）5月に日本に返還されるまでの27年間、米国の統治下にありました。【※奄美は1953年（昭和28）、小笠原は1968年（昭和43）に返還。】

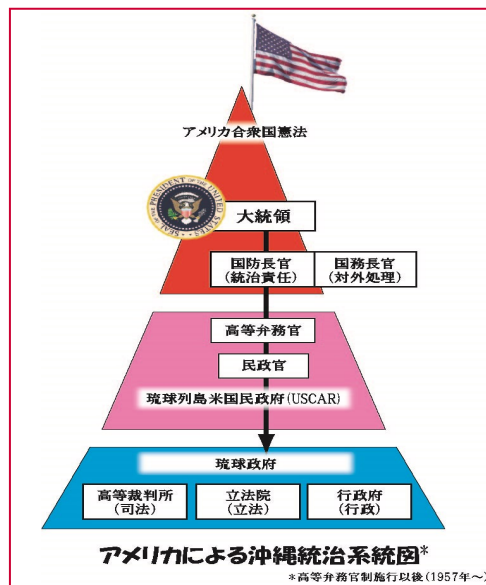
### 事業の経緯

沖縄県公文書館では、歴史資料として重要な公文書等の収集整理を行い、閲覧や展示を通して広く県民の利用に供しています。中でも、米国統治時代に地元の行政機関であった琉球政府の文書と同様、米連邦政府の出先機関であった琉球列島米国民政府（USCAR）の文書は、沖縄の戦後史を記録した「車の両輪」と位置づけられ、当館は1997年（平成9）から2003年（平成15）までの間、米国国立公文書館において収集事業に取り組みしました。

しかし、USCARは米連邦政府からすると「出先機関」でしかなかったため、米国による沖縄統治政策を検証するには、大統領府、国防総省、国務省などの政策決定の中核機関の記録が重要になります。

そこで当館は、全米に散在する大統領図書館、軍資料館、大学図書館などで沖縄戦や沖縄統治関係資料の調査と収集にも取り組みました。

その時集めた資料の多くは、日本国内では当館で見ることができない貴重なものとなっています。

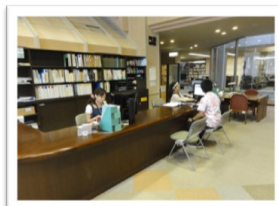


## PATH FINDERとは？

パスファインダーは「道案内」を意味します。ある特定のトピック（主題）や資料群に関する情報を分かりやすくまとめたツールです。

### 《パスファインダー一覧》

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 飲食店マップ      | 16. 立法院会議録         |
| 2. 地籍調査 関係資料   | 17. 軽便鉄道           |
| 3. 家譜          | 18. 沖縄移民 関係資料      |
| 4. 市内バス案内      | 19. 宮森小学校ジェット機墜落事故 |
| 5. 新聞資料        | 20. アーカイブズと著作権     |
| 6. 軍雇用員カード     | 21. 沖縄国際海洋博覧会関係資料  |
| 7. 空中写真        | 22. 毒ガス移送 関係資料     |
| 8. 写真資料        | 23. 10・10 空襲       |
| 9. 沖縄戦 関係資料    | 24. 見学受付           |
| 10. 閲覧室へようこそ   | 25. 資料検索のコツ        |
| 11. はじめての公文書館  | 26. 通貨交換           |
| 12. 小・中学生の皆さまへ |                    |
| 13. 米国収集資料     | (令和5年4月30日現在)      |
| 14. USCAR 文書   |                    |
| 15. 対米国民政府往復文書 |                    |



かわいいことは  
閲覧スタッフまで♪



### 沖縄県公文書館 閲覧室

[9:00-17:00 休館日:月曜・祝日]

※閲覧申請の受付は16:30迄

〒901-1105  
沖縄県南風原町字新川148-3

TEL :098-888-3871

FAX :098-888-3874

Email :reference@archives.pref.okinawa.jp

## PATH FINDER No. 13

# 米国収集資料



米国国立公文書館(メリーランド州カレッジパーク)  
National Archives and Records Administration, NARA

連邦政府機関が集中する米国の首都、ワシントンD.C.郊外に1994年に開館した米国国立公文書館新館。沖縄戦や戦後の米国による沖縄統治に関する連邦政府記録が保管され、利用に供されている。



沖縄県公文書館  
Okinawa Prefectural Archives

沖縄県公文書館が所蔵する米国収集資料は、「沖縄戦」「統治政策」「在沖米軍」の3つの分野に大別することができます。

## ① 沖縄戦 THE BATTLE OF OKINAWA

### ポイント

- ① 沖縄戦関係資料は膨大に存在し、当館が米国国立公文書館等から収集できたのは一部にすぎません。
- ② 当館の米国から独自に収集した資料は主に海上の作戦に関する資料ですが、地上戦に関する資料は東京の国立公文書館を通じて収集しました。

### ◆ 地上戦関係

東京の国立国会図書館から沖縄関係のみを抽出し、マイクロフィッシュで収集しました。

#### ▼ 陸軍高級副官部文書

・「第2次世界大戦作戦記録」… 太平洋戦域、第10軍、第24軍団、第7歩兵師団、第27歩兵師団、第77歩兵師団、第96歩兵師団、第441防諜隊部隊の資料を収集しました。数量約513,300コマ。

#### ▼ 米海兵隊太平洋戦争文書

・「米海兵隊地理ファイル」… 数量約7万コマ。

### ◆ 海上戦関係

#### ▼ 海軍軍令部長室文書

- ・「第2次世界大戦作戦計画書、指令及び関係文書」
- ・「第2次世界大戦作戦報告書」
- ・「第2次世界大戦作戦日誌」, etc.

### ◆ 基地建設関係資料

米軍が上陸直後から日本本土決戦に向けて取り組んだ航空基地建設関係資料があります。

#### ▼ 工兵局長室文書

・「基地、飛行場建設関係」

### ◆ 対日戦略関係資料

#### ▼ 統合参謀本部文書

- ・「十進主題別ファイル」
- ・「地域別ファイル」



## ② 統治政策 MILITARY & CIVIL ADMINISTRATIONS

### ポイント

USCARをはじめ、大統領府、国防総省、国務省などのさまざまな政府機関及び大学図書館などから資料を収集しています。その主なものは以下の通りです。

#### ▼ 琉球列島米国民政府 (USCAR) 文書

米国による沖縄統治のための出先機関で、その実態を検証する上で重要な資料群です。16部局、約350万頁をマイクロフィルムで収集し、2018年(平成30)8月現在、法務局の一部を除く文書を公開しています。

#### ▼ 国務省文書

日本の外務省に相当し、米国の外交政策を担う機関です。資料群を大別すると以下の2つとなります。(※一部は当館HPでPDF画像の閲覧可)

- ・セントラル・ファイル (本省の集中管理システム文書)
- ・オフィス・ロット・ファイル (各部署管理文書)

#### ▼ GHQ-SCAP文書

1945年から52年までの日本占領期間の連合国軍最高司令官総司令部の文書です。東京の国立国会図書館から沖縄関係のみを抽出し、マイクロフィッシュで収集しました。

#### ▼ 極東軍・連合国総司令官・極東軍総司令部文書

連合国軍による日本占領は実質的に米軍による単独占領でした。その組織は、占領行政を担ったGHQ-SCAPと軍事作戦を担ったFEC(極東軍)においてスタッフ及び機能が重なる「二重構造」になっていました。極東軍の総司令官は1957年まで沖縄の軍政(のち民政)長官を兼ねていました。

#### ▼ 大統領図書館文書

全米に散在する大統領図書館に保管されている沖縄関係資料です。当館はそのうち戦後の沖縄統治に関わったルーズベルト、トルーマン、アイゼンハワー、ケネディ、ジョンソン、ニクソンまでの資料を収集しました。

#### ▼ オフラハーティ文書

米陸軍省で沖縄担当職員だったエドワード・オフラハーティは沖縄返還後にUSCAR正史の編さんを任せられ、さまざま連邦省庁の機密文書へのアクセスを許されました。この資料群にはいわゆる「財政密約文書」など沖縄返還交渉に関する貴重な資料が含まれています。

#### ▼ ミシガン州立大学文書

米軍政府は1950年(昭和25)5月、沖縄初の大学として琉球大学を設置しました。米陸軍省は同大学を支援するため、翌年からミシガン州立大学(MSU)と契約を結び、カリキュラムの開発や施設拡充などの支援に取り組みました。この資料群には、大学運営計画、USCARとの書類類が含まれています。

## ③ 在沖米軍 U.S. FORCES, OKINAWA

### ポイント

- ① 施設管理、武器・物資調達等、米軍内部のさまざまなオペレーションに関する資料です。
- ② 在沖米軍の部隊運用に関する資料は膨大に残されていますが、まだ機密解除されていないものも多く、当館が収集できたのは一部にすぎません。

### ◆ 戦後基地建設関係資料

米軍の中で基地建設工事を担ったのは陸軍工兵隊でした。基地建設の進捗情報のほか、定例の担当者会議など事業方針に関する文書などが含まれています。

#### ▼ 工兵局長室文書

- ・「沖縄地区工兵隊文書」  
(Okinawa Engineer District)

## その他の情報 CHECK IT OUT!

### ◆ 写真資料

沖縄戦中の写真が約1万枚、戦後の写真が約1万枚あり、館内のほか、ホームページでも公開されています。すべてデジタル化されており、ノートパソコンを持参すれば無料で複写できます。

### ◆ 映像資料

当館が米国国立公文書館から収集した映像が約150タイトル、NHK沖縄放送局、1フィート運動の会から寄贈を受けたものが、それぞれ約570、約200タイトルあります。

### ◆ 空中写真

沖縄の地勢分析や戦術地図作成の目的で米軍が1944年から45年にかけて撮影した空中写真が約3,500枚あります。

### ◆ 参考資料

そのほか、閲覧申請なしで閲覧できる資料集が参考資料室には配架されています。詳しくはカウンター職員にお尋ねください。

- 「沖縄戦後初期占領資料」(ワトキンス文書刊行会)
- 「アメリカ合衆国対日政策文書集成」(柏書房)
- 「アメリカ外交文書」(米国務省)